



2020年7月14日

各位

会社名 クックビズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長CEO 藪ノ 賢次  
(コード: 6558、東証マザーズ)  
問合せ先 取締役CFO 岡本 哲郎  
(TEL. 06-7777-2133)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年1月14日の「2019年11月期決算短信」で公表いたしました2020年11月期(2019年12月1日～2020年11月30日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の業績予想数値の修正(2019年12月1日～2020年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	3,372	300	300	178	80.72
今回修正予想(B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(参考)前期実績 (2019年11月期)	2,973	226	227	139	63.34

#### 2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)の拡大により、世界各国においてロックダウンや外出自粛などが行われ、経済活動は大きく停滞し、世界経済は大きな打撃を受ける事態となりました。我が国においても2020年6月に発表された日銀短観では殆どの産業における景況感が大幅な悪化傾向を示しており、景気はより一層不透明な状況になってきております。

当社を取り巻く環境としましては、求職者の動きは大きな影響を受けておらず、求職者の獲得については堅調に推移しております。しかしながら、当社が事業領域と定める飲食業界における求人企業においては、COVID-19の拡大に伴うインバウンド需要の著しい減少や飲食店への休業要請などにより、飲食店利用客が大きく減少していることから採用計画の中止や縮小の動きが広がってまいりました。特に2020年4月7日の緊急事態宣言発令以降は、この傾向が顕著になってきております。

このような状況において、当社は緊急事態宣言発令にあわせ営業人員を中心に休業を行っており、求人企業の求人ニーズの大幅な低下と相まって、人材紹介事業及び求人広告事業ともに半期終了時点の社内計画に対して60%弱程度の達成率にとどまるなど、売上高が予想と比べ大幅な減収となっております。

この状況への対応策として、求人ニーズの低下に併せて広告宣伝費の大幅な削減を行なうとともに、役員報酬の減額、新規人材採用の停止、従業員の休業対応、出張費及び会議費並びに交際費の大幅な削減、業務委託

費や支払手数料の見直しなど、徹底的なコスト削減を実施し半期終了時点の社内計画に対し20%程度削減しております。特にCOVID-19の影響が顕在化した第2四半期会計期間（2020年3月1日～2020年5月31日）においては、社内計画に対し35%程度削減をいたしました。しかしながら売上の減少をカバーすることは出来ず、6月単月においても社内計画に対し40%弱の達成率にとどまるなど、第3四半期会計期間は引き続き経常損失を計上する予測をしております。なお、第4四半期以降におきましてもCOVID-19の飲食業界に与える影響の長期化が予測される中で、引き続き先行き不透明な状況が続くことが予想されるため、通期業績予想を未定と修正させていただきます。当社としましては、今後もCOVID-19の拡大の影響、及びそれに伴う景気動向を注視しつつ事業運営に努め、業績予想を合理的に見積もることが出来た際に、改めて適時開示を速やかに公表してまいります。

以 上